

## 指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策 番号	施策名	指標①	2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたの か)	指標②	2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)		
			実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						
1-1-1	区民の生命を守る総合危機管理能力の向上	成果指標(区民意識調査)	「さまざまな災害に対する強靱なまちづくりが進んでいる」と思うと回答した割合	—	—	%	#VALUE!	指標新設のため数値設定なし	活動指標	救援センター開設運営訓練の参加者人数	1,320	1,600	人	121%	過去の経過を踏まえ段階的に実現可能な数値を設定
1-1-2	区民防災力の向上	成果指標(区民意識調査)	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」と思う回答割合【%】	—	—	%	#VALUE!	指標新設のため数値設定なし	成果指標(区民意識調査以外)	防災訓練の参加人数【人】	3,125	3,450	人	110%	過去の経過を踏まえ段階的に実現可能な数値を設定
1-1-3	災害時避難者・災害時要援護者対策	成果指標(区民意識調査以外)	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数【人】	0	105.0	人	#DIV/0!	各救援センターに3人ずつを目標に、実現可能な数値で段階的に設定	成果指標(区民意識調査以外)	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】	—	95	%	#VALUE!	実施計画を勘案し現実的な数値を設定
1-1-4	災害に強い都市の再現	成果指標(区民意識調査以外)	密集事業地区内の不燃領域率【%】	67.8	70.0以上	%	103.2%	市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率がほぼ0となるため。	成果指標(区民意識調査以外)	狭あい道路拡幅整備率【%】	40.1	46	%	115%	年間約1%を目標に数値を設定
1-2	地域における区民参画・協働の推進	成果指標(区民意識調査)	「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について、肯定的な回答する区民の割合【%】	31.6	40	%	126.6%	直近5年間で5.5ポイントアップのため、継続して同等以上の実績となるよう目標を設置。	成果指標(区民意識調査以外)	区とNPO等との協働事業の実施数【件】	229	290	件	127%	コロナ前5年間(H27からR元)と同程度の伸び率(1.3倍)で進展が継続した時の数値を目標値とした。
1-3	地域における活動・交流拠点の充実	成果指標(区民意識調査以外)	地域区民ひろばの登録者数【人】	21,609	27,000	人	124.9%	コロナ前5年間(H27からR元年)の伸び率踏(約7%増加)と直近の状況を勘案し、毎年度約5%増加するよう設定した。	成果指標(区民意識調査)	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	25.1	34	%	135%	後期基本計画の参考値(2030年に35%)を達成できるよう設定した。
1-4	良質で長く住み続けられる住環境の整備	成果指標(区民意識調査)	「現在住んでいる地域に住み続けたい」と思う区民の割合	83.2	86.5	%	104.0%	過去の区民意識調査の結果を踏まえ、現状値を基礎とし、毎年0.5%ずつ上昇させていくことを目標として設定した。	成果指標(区民意識調査以外)	ファミリー世帯の構成割合【%】	19.1	21	%	110%	過去5年間の数値が横ばい～減少傾向であることを踏まえ、5年間で概ね2ポイント上昇させることを目標とした。
1-5	治安対策の推進による地域防犯力の向上	成果指標(区民意識調査以外)	区内の刑法犯認知件数【件】	3,405	2,800	件	82.2%	段階的に各年前年比100件減を目標に設定	成果指標(区民意識調査)	「治安が良く、安心して暮らせる」の問いについて肯定的な回答をする割合【%】	33.4	60	%	180%	段階的に各年前年比5%増を目標に設定

# 指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策番号	施策名	指標①		2023年	2029年	単位	参考対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)	指標②		2023年	2029年	単位	参考対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)
		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>					実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						
2-1-1	妊娠期からの切れ目のない支援の充実	成果指標 (区民意識調査)	「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」と思う区民の割合【%】	20.4	26.0	%	127.5%	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	成果指標 (区民意識調査以外)	健康推進課、長崎健康相談所及び子ども家庭支援センターで訪問及び相談対応を実施し、支援が必要と決定し、サポートプランを策定した件数	-	100	件	#VALUE!	切れ目のない支援を実施することも家庭センターとしての成果を図るうえでサポートプラン作成数は最も成果指標にふさわしいため
2-1-2	未就学児の子育て世帯への支援	成果指標 (区民意識調査以外)	東部・西部子ども家庭支援センターの親子遊び広場事業の利用者数	26,899	27,300	人	101.5%	在宅で子育てする保護者を孤独・孤立から防ぐ観点から、親子遊び広場事業利用者数は成果に直結しているため	成果指標 (区民意識調査)	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合 (%)	17.7	22.7	%	128%	施策に対する区民の評価を把握できる指標のため
2-1-3	保育の質の向上・保育サービスの充実	成果指標 (区民意識調査)	「地域の保育需要に応じた保育サービスが充実している」と思う区民の割合【%】	-	32.5	%	#VALUE!	施策に対する区民の評価を把握できる指標のため	成果指標 (区民意識調査以外)	待機児童数	0	0	人	#DIV/0!	保育の提供は保育サービスの基本となる指標であるため
2-1-4	援助を必要とする子育て世帯への支援	成果指標 (区民意識調査)	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	17.7	28.0	%	158.2%	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	成果指標 (区民意識調査)	「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」と思う区民の割合【%】	8.2	18.0	%	220%	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため
2-2-1	就学前の子どもに対する教育	成果指標 (区民意識調査)	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うかに肯定的な回答をした割合【%】	-	100.0	%	#VALUE!	現状の体制で実現できる理想値	成果指標 (区民意識調査)	学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしていると思うと回答した割合【%】	74.3	100	%	135%	現状の体制で実現できる理想値
2-2-2	未来を切り拓くための力を育成する教育	成果指標 (区民意識調査以外)	全国学力調査における学校アンケート(習得・活用及び)探究の指導方法の改善及び工夫の実施率【%】	小 95.4 中 87.5	小 100.0 中 100.0	%	109.3%	現状の体制で実現できる理想値	成果指標 (区民意識調査以外)	区心理検査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率【%】	小 69.8 中 74.2	小 85.0 中 85.0	%	118.1%	現状の体制で実現できる理想値
2-2-3	一人ひとりに寄り添った教育	成果指標 (区民意識調査以外)	SSWの支援による課題の改善・解消率【%】	47.8	54	%	113.0%	SSW支援が入ったことによる具体的な成果を示す値のため	成果指標 (区民意識調査以外)	教育相談利用者数【人】	495	510	件	103%	利用者を定量的に評価できる指標のため
2-2-4	子どもが安心していきいきと過ごせる居場所づくり	成果指標 (区民意識調査以外)	放課後子ども教室に参加した児童数【人】	16323	30000	人	183.8%	コロナ前の水準に戻し、地域資源を考慮した実現できる理想値を設定	成果指標 (区民意識調査以外)	休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合【%】	-	80.0	%	#VALUE!	都の「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」を踏まえ設定

指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策番号	施策名	指標①		2023年	2029年	単位	参考対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)	指標②		2023年	2029年	単位	参考対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)
		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>					実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						
2-2-5	子どもの学びと成長を支える教育環境の整備	成果指標（区民意識調査以外）	改築済（工事中含む）の小中学校数	10	14.0	校	140.0%	学校改築への取り組み状況を定量的に評価できる指標のため	成果指標（区民意識調査以外）	時間外勤務が月45時間を超える教員の割合	40.0	0.0	%	0%	教員のワークライフバランスを図る指標であるため ※都の「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」の成果指標となってい 施策を進めた成果として想定される「地域への愛着」を定量的に測定できる指標であるた
2-2-6	学校と家庭・地域が連携した教育活動の推進	成果指標（区民意識調査以外）	「学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している」の回答割合【%】	90	100.0	%	111.1%		成果指標（区民意識調査以外）	児童・生徒の地域への愛着（%）	小6： 92.1 中3： 90.8	小 6:85.0 中 3:85.0	%	#VALUE!	
2-3-1	子ども・若者の社会参画・活動の場の創出	成果指標（区民意識調査）	「豊島区子どもの権利に関する条例について知っている」と回答した区民の割合（%）	—	—	%	#VALUE!	指標新設のため数値設定なし	活動指標	「利用者会議」参加延べ人数	529	560	人	106%	現状の体制で実現できる目標値
2-3-2	多様な子ども・若者への支援	成果指標（区民意識調査）	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合（%）	—	24.0	%	#VALUE!	区民意識調査の類似の項目が過去3年間で3ポイント下がっていることを踏まえ、毎年1ポイント上昇させていくことを目標にした	成果指標（区民意識調査以外）	里親の登録家庭数【家庭】	22	44	家庭	200%	すべての小学校区に里親家庭を2家庭登録させることを目標に、22地区×2家庭=44と設定した
3-1-1	どんな悩みごとでも受け止める相談体制の強化	成果指標（区民意識調査）	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる【%】	-	36.6	%	#VALUE!	協働のまちづくりに関する区民意識調査「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」R5調査結果32.9%から過去の経過を比較して算出	成果指標（区民意識調査以外）	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数（延べ）【件】	10,158	16,000	件	158%	指標における過去3年間の経過を踏まえ、2024年に設定した目標値を起算とし、年間900件の増加を想定して算出
3-1-2	住み慣れた地域で暮らし続けられる支援体制の強化	成果指標（区民意識調査以外）	成年後見制度の利用者数【人】 ※東京家庭裁判所の統計に基づく概数	580	640	人	110.3%	2020年から2023年までの利用者数の推移を踏まえ、1年あたり10人増加する目標とした。	成果指標（区民意識調査）	高齢者や障害者、生活困窮者等が必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができていると思う人の割合【%】	19.6	22.6	%	115%	過去5年の経過より、約3ポイント伸びており、今後5年間で同程度上昇の目標を設定した。

指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策番号	施策名	指標①		2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)	指標②		2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)
		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>					実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						
3-1-3	社会とのつながりや参加を支えるしくみづくり	成果指標 (区民意識調査)	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある。」について肯定的な回答をする割合【%】	-	42	%	#VALUE!	人と人のつながりが測れる指標であり、保健福祉計画改定のための区民意識調査の類似項目の割合が、直近の令和4年度は32.2%であり、前回の平成28年度は42%であったことから、基本計画の5年間で平成28年度水準までの向上を目標として設定した。	成果指標 (区民意識調査以外)	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	67.8	79.0	%	117%	課題を抱える対象者の社会参加を含む就職率を測る指標であり、令和4年度年度と令和5年度比較伸び値を踏まえ、令和6年度は同等程度の4.2ポイント上昇、以降上昇とともに伸びは鈍化することから令和7年度は3ポイント、令和8年度は2ポイント、令和9年度は1ポイント、令和10年度、令和11年度は0.5ポイント
3-1-4	いきいきと生活し続けるための活動への支援	成果指標 (区民意識調査)	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っていると思っている割合	14	20	%	142.9%	これまでほぼ横ばいで推移している現状から着実な向上を図るため継続的に年1%の向上を目標とした。	成果指標 (区民意識調査以外)	「ときめき創造展」等企画の作品出展数	169	230	作品	136%	アート教室の参加者の状況を勘案し、毎年10作品程度の出点数の増が見込めると判断した
3-1-5	暮らしやすく、社会につながる環境の整備	成果指標 (区民意識調査)	「日常生活を送る範囲で、まちのバリアフリーに満足している」について肯定的な回答をする割合【%】	-	30	%	#VALUE!	令和4年度豊島区地域保健福祉計画改定のための区民意識意向調査における類似設問の回答結果から、2024年の目標値を設定し、年間1.5%ずつ増加することを想定して算出	成果指標 (区民意識調査以外)	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率【%】	78	81	%	104%	スマホ講座の実施状況やその参加状況、スマホに慣れている世代の高齢化により毎年0.5%程度増加すると見込んだ。
3-1-6	ともに支え合い、思いやりあふれる地域づくりの推進	成果指標 (区民意識調査以外)	コミュニティソーシャルワーカーが対応する地域団体等への支援、団体との連携の件数	2777	3300	件	118.8%	指標における過去の経過を踏まえ、2024年に設定した目標値2,800件を起算とし、年間100件の増加を想定して算出	成果指標 (区民意識調査)	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいると回答した人の割合	-	45	%	#VALUE!	障害者等実態・意向調査にて「障害や疾病に対する地域の理解」が約35%となっていることを踏まえ、5年間で10%区民の理解と周知が進むことを目標とした。

指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策番号	施策名	指標①		2023年	2029年	単位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)	指標②		2023年	2029年	単位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)
		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>	実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>										
3-1-7	福祉人材の確保・支援と福祉サービスの質の向上	成果指標 (区民意識調査)	「支援を必要とする人に適切で良質なサービスが提供されている」にどちらかというと思うに回答する割合	—	30	%	#VALUE!	協働のまちづくりに関する区民意識調査の類似設問である「地域の中で高齢者や障害者の権利が守られ質の高いサービスが提供されている」の回答結果が、ここ3年間約1%程度の幅で上下している。確実に1%の向上を継続することを目標とし、専門職の個別対応による受診意欲喚起効果及びリマインダー機能による効果的な勧奨の継続的な改善を見込み、達成可能性に基づき設定した。	成果指標 (区民意識調査以外)	高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数	102	90	件	88%	虐待に対する事業者や養護者等の理解が進み虐待の未然防止の取り組みを進める一方、周知啓発による通報・相談増を勘案し、5年間で10件の虐待の減少を見込んだ。
3-2-1	健康に関する気づきの推進	活動指標	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	54.2	56.0	%	103.3%	過去の区民意識調査の結果と現状の体制から、年0.5ポイントずつの上昇を設定。	成果指標 (区民意識調査以外)	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」と思う区民の割合	55.3	62.0	%	112%	過去の同調査データの実績(R2年度:57.8%)を踏まえ、目標設定を行った。確実な向上を目指す意図があり、その結果を反映した目標値を設定した。
3-2-2	こころと体の健康づくりの推進	成果指標 (区民意識調査)	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合【%】	16.8	20	%	119.0%	過去の区民意識調査の結果を踏まえ、現状値を基礎とし、年1%増を目安に設定	成果指標 (区民意識調査以外)	区民の健康寿命	男性 80.72 女性 82.80 (2022)	男性 81.25 女性 82.93	歳	男性 100.7% 女性 100.2%	東京都全域の健康寿命を目標値として設定した。
3-2-3	健康危機管理の強化	成果指標 (区民意識調査)	「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」と思う区民の割合	38.3	44.0	%	114.9%	直近及び過去の意識調査の結果をもとに、現行計画における2029年の目標値と同じ50.4%とした。	成果指標 (区民意識調査以外)	定期予防接種 (A類) 平均接種率【%】	88.1	91.0	%	103.3%	今後定期接種化される予防接種や対象者の変動等に鑑み、接種状況を客観的に把握できる指標であり、年約0.5%増を目標に設定 実績値は、医師会等の関係団体からの全面的な協力を得た上でのものではあるが、制度のより積極的な周知等を通じ、毎年5名程度の上積みが見込める
3-2-4	地域医療体制の充実	成果指標 (区民意識調査)	「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」と思う区民の割合【%】	49.2	50.4	%	102.4%	医療救護活動従事者登録数【人】	202	230	人	114%			

指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策番号	施策名	指標①	2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)	指標②	2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)		
			実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						
4-1	地域文化・伝統文化の継承と発展	成果指標（区 民意識調査以 外）	郷土資料館・雑司が谷旧宣 教師館・鈴木信太郎記念 館・昭和レトロ館の来館者 数【人】	97,099	134,000	人	138.0%	4年度から5年度にかけ ての来館者数の平均値 を算出した結果、5年 度は4年度比で5.9%増 加した。この増加率を 維持すれば、分館3館 の来館者数は85,821人 に達する見込みであ る。レトロ館は令和11 年度までに48,000人の 来館を目標としてお り、これらを合わせた 総来館者数は約 134,000人となること	成果指標（区民意 識調査）	「歴史的財産である文化財 や文化資源が大切に保存・ 活用されている」と思う区 民の割合【%】	33.1	40.0	%	121%	旧計画では目標値を 49.0%に設定していた が、最新の実績値と過 去3か年の平均値はとも に33.1%にとどまってい る。この指標は非常に 有効であるため引き続 き継続するが、現実的 な目標として40.0%に設 定し直した。目標達成 のためには、毎年約 3.21%の定率増加を見込 んでいる。
4-2	文化芸術への参 加・創造の機会 の創出	成果指標（区 民意識調査）	「文化芸術に触れる機会が 多くなった」と思う区民の 割合【%】	34.6	50.0	%	144.5%	区民意識調査の指標は 引き続き活用するが、 旧計画の目標値は高す ぎるため、過去の実績 を考慮して再設定し た。「文化芸術に触れ る機会が多くなった」 と感じる人が50%に達 した時点で、文化芸術 が浸透したと判断し、 50%を目標値とする	活動指標	区立劇場、ホール年間来 場者数【万人】	40.9	50.9	万人	124%	各劇場やホールの1公演 あたりの収容人数と稼 働日数（稼働率）を考 慮し、最大の年間来場 者数を509,400人と設定 した。
4-3	学習活動の支援 を通じた生涯学 習の推進	成果指標（区 民意識調査以 外）	地域文化創造館の利用率 【%】	50	62		124.0%	新型コロナウイルス対策 前の利用率を踏まえ、 毎年2.0ポイント増加 する想定で設定	成果指標（区民意 識調査以外）	「学んだことを地域で生か して活動をしている」と思 う区民の割合【%】	7.7	9	%	117%	過去の経緯及び過去最 高値を踏まえ、段階的 に実現可能な数値を設 定
4-4	多様な役割を持 つ新たな図書館 の実現	成果指標（区 民意識調査以 外）	年間図書貸出数	2,092,784	2,300,000	冊	109.9%	過去の年間図書貸出数 を踏まえ、過去最高の 数値を目標値として設 定する。	成果指標（区民意 識調査以外）	年間図書館来館者数	1,512,313	2,000,000	人	132%	減少傾向にある図書館 来館者数を、新型コロ ナウイルス前まで回復 させる指標であるた
4-5	生涯を通じたス ポーツ活動の推 進	成果指標（区 民意識調査）	「地域でスポーツに親しむ 環境や機会がある」と思う 区民の割合【%】	16.3	34	%	208.6%	後期基本計画の参考値 (2029年に34%)を 達成できるように設定し た。	成果指標（区民意 識調査以外）	「生涯スポーツ推進事業」 への参加者数【人】	3,568	5,750	人	161%	直近の実績値をもと に、今後のスポーツ実 施気運の向上とともに 期待される数値を設定
5-1	中小企業の経営 力強化と起業の 促進	成果指標（区 民意識調査以 外）	融資あっせん件数【件】 ※コロナ融資を除く	251	311		123.9%	コロナ前の水準（約 1,260件）を上回るた めに、各年約2.0%の 増加を目標値として設	成果指標（区民意 識調査以外）	区内新設法人数【件】	1457	1490		102%	コロナ前の水準（1,493 件）に戻すために、各 年約0.5%の増加を目標 値として設定。

指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策番号	施策名	指標①		2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)	指標②		2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)
		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>					実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						
5-2	持続可能な商店街に向けた活性化支援	成果指標（区民意識調査以外）	商店街イベント事業来場者	183	195	万人	106.6%	賑わいの創出や、多様な来街者が快適に商店街を利用するための施策を反映する指標であるため	成果指標（区民意識調査以外）	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っていると思う」区民の割合	22.6	25.0	%	111%	賑わいの創出や、多様な来街者が快適に商店街を利用するための施策を反映する指標であるため
5-3	観光資源の活用による地域経済の活性化	成果指標（区民意識調査以外）	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合【%】	24.1	27.0	%	112.0%	コロナ禍前は各年約0.3%の増加であったため、それを上回る各年0.5%の増加で目標値を設定	成果指標（区民意識調査）	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と思う区民の割合【%】	29.8	35.0	%	117%	近年の平均が各年約0.5%の増加であったため、それを上回る各年1.0%の増加で目標値を設定
5-4	観光情報の発信強化と受入環境の整備	成果指標（区民意識調査）	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」と思う区民の割合【%】	17.6	21.0	%	119.3%	コロナ禍前の20%強から近年は低下していたが、インバウンド需要が増加している中で、20%を超える目標値を設定	成果指標（区民意識調査以外）	池袋東口観光案内所の来館者数【人】	8,847	25,000	人	283%	令和6年4月にリニューアルした当観光案内所について、今年度は年度途中までの実績から20,000人を見込み、以降、各年1,000人増で目標値を設定
5-5	消費者教育の推進と消費生活相談の充実	成果指標（区民意識調査以外）	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の参加人数（人）	935	1000.0	人	107.0%	事業に関する実績を把握するための数値であるため	成果指標（区民意識調査）	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実していると思う区民の割合	10.6	14.0	%	132%	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため
6-1	脱炭素社会の実現	成果指標（区民意識調査以外）	区内の太陽光発電設置容量	8269.0	30438.0	kW	368.1%	「2050としまゼロカーボン戦略」における計画目標値を使用した。	成果指標（区民意識調査以外）	区内温室効果ガス排出量	1472 (2021年)	1059 (2027年)	千tCO <sub>2</sub> e	72%	2050年ゼロカーボンシティを宣言した自治体として、国が掲げる目標などを踏まえ設定している。
6-2	みどりのネットワークの形成	成果指標（区民意識調査以外）	みどり率【%】	14.1	14.3	%	101.4%	みどりに覆われている場所の考え方が、緑被率からみどり率へ代わってきており、みどりの基本計画に合わせた目標値を設定。また、大きな公園等の予定のない中の現実的な数値である。	成果指標（区民意識調査）	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする割合【%】	12.1	16.8	%	139%	2030年度に2021年度比50%増となるような目標を設定している。
6-3	省資源・循環型社会の形成	成果指標（区民意識調査以外）	区民一人1日あたりのごみ量【g/人日】	472	473.0	g	100.2%	「第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画」における計画目標値を使用した。	成果指標（区民意識調査）	「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合【%】	61.5	64.5	%	105%	最新の区民意識調査結果と過去からの推移を踏まえ、達成を見込める現実的な数値として設定した。

指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策番号	施策名	指標①		2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)	指標②		2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)
		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>					実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>						
6-4	良好な生活環境の保全	成果指標 (区民意識調査以外)	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」と思う区民の割合【%】	35.8	36.4	%	101.7%	これまでの実績の推移を元に、区民の環境美化への関心を促していくための目標値として設定した。	成果指標 (区民意識調査以外)	事業場からのVOC (揮発性有機化合物) の排出量【kg】	6,298	6,042	kg	96%	実現可能な理想値として年間約40kgの削減ペースを設定し、2030年の排出量6,000kgを目標値とした
6-5	人にも地球にも優しく行動する人の輪を広げる	成果指標 (区民意識調査以外)	環境教育支援プログラム実施回数 (累計) (回)	43.0	355.0	回	825.6%	子どもたちへ環境問題を身近なものとしてとらえる関心の高まりを累計として設定。年ベースを一定割合増やす指標	成果指標 (区民意識調査以外)	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合	83.5	100	%	120%	実績値をもとに、すべての区民が環境にやさしいライフスタイルを実施することを目指して目標を設定した。
7-1	地域の特性を生かした都市づくり	活動指標	地区計画の区域面積【ha】	368	369	ha	100.3%	地区の課題や特徴を踏まえ、住民と区が連携しながら、目指すべき将来像を設定したエリアの面積であるため。	成果指標 (区民意識調査)	「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	35.6	50.0	%	140.4%	区民意識調査の過去データを用いて近似曲線を算出し目標年度の数値を推計している。
7-2	池袋駅周辺地域の再生	成果指標 (区民意識調査)	「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	46.7	68.0	%	145.6%	区民意識調査の過去データを用いて近似曲線を算出し目標年度の数値を推計している。	成果指標 (区民意識調査以外)	池袋駅周辺地域の鉄道駅 (池袋駅、東池袋駅) 乗降客数	2,350,918	2,550,000	人	108%	基本構想の目標年次である2034年に、新型コロナウイルス感染拡大前のピーク人数 (約270万人) に戻ることを想定し、設定
7-③	交通安全対策の推進	成果指標 (区民意識調査以外)	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件/年】	307	260	件	84.7%	取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。	成果指標 (区民意識調査以外)	交通安全研修会 (子育て世代・高齢者研修会) 等への参加人数【人/年】	1,037	1,065	件	103%	指標①とあわせて、交通安全の視点と、事故時被害を軽減するための取組みを表すことができるため。
7-4	魅力ある公園づくりへの挑戦	成果指標 (区民意識調査)	「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合【%】	49.1	55	%	112.0%	豊島区みどりの基本計画の目標に合わせ、現実的な数値目標を設定	活動指標	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数【団体】	54	66	団体	122%	豊島区みどりの基本計画の目標としており、毎年2団体ずつ増加させる予定であるため、現実的な数値設定。
1	地域課題を考え抜き、成長し続ける職員と組織	成果指標 (区民意識調査以外)	「仕事を通じて、自分の成長を感じている」と思う職員の割合【%】	47.9	60.0	%	125.3%	過去3年間の推移や民間調査機関の調査結果等を基に設定した。	成果指標 (区民意識調査)	「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができています」と思う区民の割合【%】	48	54	%	113%	過去から推移と現状値を踏まえ、達成を見込める数値を設定した。
2	持続発展するまちづくりを実現する行財政運営	成果指標 (区民意識調査以外)	経常収支比率【%】	70~80	70~80	%	#VALUE!	適正水準は70~80%とされている	成果指標 (区民意識調査以外)	特別区民税収納率【%】	97.87	98.15	%	100%	近年の社会経済動向を踏まえ、ここ数年は収納率も微増で推移すると想定した。



指標の目標値の設定根拠について

参考: 現計画(2022-2025)改定時の同資料

施策 番号	施策名	指標①		2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたの か)	指標②		2023年	2029年	単 位	参考 対2023比	目標値の設定根拠 (なぜその数値にしたのか)
		実績値 <small>※ない場合は2020年以前の 数値</small>		実績値 <small>※ない場合は2020年以前 の数値</small>					実績値 <small>※ない場合は2020年以前 の数値</small>						
3	将来を見据えた 公共施設等のマ ネジメント	成果指標 (区 民意識調査以 外)	区が保有及び管理する施設 の延床面積【万㎡】	45.13	検討中	万 ㎡	#VALUE!	区施設の改築改修計画 を検討中のため	成果指標 (区民意 識調査以外)	学校改築の進捗率【%】	33.3	35.7	%	107%	現時点で計画化されて いる数値を設定した
4	デジタル技術を 活用した効率的 かつ質の高い行 政サービス	成果指標 (区 民意識調査以 外)	オンラインにて対応可能な 行政手続きの割合【%】	測定中	100.0	%	#VALUE!	他区では既に達成して いる目標であり、本区 も対応が不可避なため	成果指標 (区民意 識調査以外)	職員アンケート結果 (デジ タル化の浸透度)【%】	測定中	検討中	%	#VALUE!	検討中
5	区民生活を支え る双方向の情報 コミュニケー	成果指標 (区 民意識調査)	「区の政策に区民の考えや 意見が反映されている」と 思う区民の割合【%】	49.9	60	%	120.2%	過去からの推移と現状 値を踏まえ、達成を見 込める数値を設定した	成果指標 (区民意 識調査)	「区政情報が伝わってい る」と思う区民の割合 【%】	48.5	65	%	134%	過去からの推移と現状 値を踏まえ、達成を見 込める数値を設定した
6	地域の魅力と区 民の誇りを高め るシティプロ モーション	成果指標 (区 民意識調査以 外)	区HP内シティプロモー ションページへの新規訪問 者数【人】	-	2500	人	#VALUE!	区HP内シティプロモー ションページへの新規訪 問者数は区への興味関心 を得てサイト訪問した数 値となるため	成果指標 (区民意 識調査)	チームとしま等の公民連 携・民民連携に係る共創プ ロジェクト創出数【件】	-	25	件	#VALUE!	区における公民・民 民連携による活力を可視 化した指標となるため